

## 第45回福岡県ミニバスケットボール選手権大会 男子決勝戦評

男子決勝は、初めての全国大会を狙う長門石スーパーモンキーズ（白）と2年連続全国大会を狙う山口Bullx（青）の対戦となった。

1Q 白⑤⑥⑧⑩⑫ 青④⑤⑧⑩⑬

両チーム、ハーフコートの2-1-2ゾーンディフェンス。

青④のゴール下ショットで先制。白は⑧ハイポストからのショットを冷静に決め、序盤は、お互いに流れをつかもうとする。白⑩と青④の見応えのあるインサイドプレーで、一進一退が続く。

6-8、山口リードで1Q終了。

2Q 白④⑥⑦⑪⑬ 青⑦⑨⑪⑫⑮

白ボールでスタート。両チームとも2-1-2のハーフコートゾーンディフェンス。

開始早々、白④のドライブからの得点で同点に追いつくが、白は、なかなか青のディフェンスに苦しみ、自分たちのリズムがつかめない。ここで、白のベンチは同点に追いついたにも関わらず、タイムアウトを取り、攻守の確認を行う。これによって白にリズムが生まれ、2Qは21-18で白がリードし終了。

3Q 白④⑤⑦⑨⑩ 青④⑤⑦⑨⑩

白ボールでスタート。両チーム、ハーフコートの2-1-2ゾーンディフェンス。

青⑤がロングシュートを決めれば、白も④のロングシュートで応戦。白は、連続のフリースローを決め、25-20と点差を広げる。青は⑤のアシストパスや⑨のミドルシュートで追いつがる。

両チームとも互いの持ち味を出しながら、ゲームを展開する。31-27、白のリードで3Q終了。

4Q 白④⑤⑦⑨⑩ 青④⑤⑦⑨⑩

青ボールでスタート。青④と白⑩のインサイドにおける激しい攻防で、どちらも譲らない。ここで、青はオールコートマンツーマンで流れを引き寄せようとする。青はルーズボールを取り、速攻からのダンクシュートを試みるが失敗。しかし、このプレーがチームに勢いをつけるきっかけとなる。残り3分を切ったところで、青はアウトサイドとインサイドにリズムよくボールが回り出し、⑤のシュートで逆転。残り1分44秒、6点差をつけられた白はタイムアウトを取り、フロントコートからの激しいディフェンスに切り替える。粘り強いディフェンスにより青のミスが続き、残り11秒で同点に追いつく。会場中の誰もが、延長戦だと思った、残り1秒。青⑨のミドルシュートがブザービーターとなり、39-41で、青の山口Bullxが、2年連続の全国大会への切符を手に入れた。